

AETスポットライト



私はミゲル・マレスといいます。メキシコから来ました。メキシコはアメリカの南に位置しています。「タコス」「テキーラ」「マリアッチ(大きなつばの帽子をかぶって歌う楽団員)」といった言葉を聞いたことがある人もいるかもしれませんが、それらはみなメキシコのものです。

私は日本や日本の文化にたいへん興味を持っていましたので、10年前に日本語を学び始めました。それから何回か観光で日本に来ましたが、2年前から日本に住み働き始めました。私が好きなことは、温泉に出かけたり、すきやきを食べたり、日本語でおしゃべりすることですが、何と言っても一番楽しいのは、神社やお寺へ行くことです。

メキシコと日本にはたくさんの違いがあります。いくつか紹介しましょう。

- ・メキシコでは自動車は右側通行です。
- ・家の中で靴を脱ぐことはありません。
- ・頬にキスをして女性と挨拶をします。
- ・結婚パーティーは朝方2時～3時まで続きます。
- ・最も人気のあるスポーツはサッカーです。
- ・朝シャワーを浴びます。
- ・一日でメインとなる食事は午後2時に食べます。
- ・一年中で一番重要な日はクリスマスです。
- ・パーティーではよくダンスを踊ります。
- ・レモンとチリソースをメロンに付けて食べます。



関市で最初に教えに行った学校は関商工です。公立の学校で教えるのは初めてのことでした。最初は何が起きるのかわかりませんでした。関商工に着いてびっくりしたのは、生徒たちが皆私を見ると、立ち止まって「おはようございます」と挨拶してくれたことです。そして一日の終わりに信じられない光景を見ました。生徒たちがみんな掃除をしていたのです。中には草とりをしている生徒もいました。これは日本の教育現場におけるすばらしい点の一つだと思います。一年中、良い経験がたくさんでき驚きもいっぱいありました。そして今年には生徒たちと一緒に甲子園に行くこともできました。

関市での2年目には大きな変化がありました。小学校や中学校でも英語を教えることになったのです。そしてわくわくしながら学校に行きました。小学生は本当に活動的で好奇心旺盛です。私は教室の中で小学生のテンポの良さに合わせるよう一生懸命努力しています。そしてメキシコにはないおもしろいことと出会いました。「給食」です。子どもたちの給食当番などがみんなで協力しあって昼食の準備をする姿に感動しました。このチームワークは完璧だと思います。すべての子どもが積極的に自分の役割を果たしています。時々子どもたちと一緒に給食を食べますが、子どもたちはメキシコについていろいろと質問をしてくれます。「どこにありますか?」とか「一番有名な食べ物は何ですか?」「一番有名な場所はどこですか?」「メキシコにはピラミッドはありますか?」といった具合です。実は、メキシコにはマヤ文明やアステカ文明に由来するピラミッドがあるのです。

子どもたちと一緒にたくさんのすばらしい経験を重ねていけることを本当に楽しみにしています。もちろん子どもたちが英語を身につけてくれるようベストをつくしていきます。子どもたちが旅行で英語を使ったり、英語を使って仕事をしたり、外国の人々と英語でおしゃべりしたりできるようになってほしいのです。そしていつか気づいてほしいのです。外国語を知ることには新しい世界に向けてドアを開くことになるのだということを。日本語が私にとって新しいドアを開いてくれたように。

プラネタリウム投影事業中止のご案内

平成11年4月にわかくさ・プラザ開館と同時にコスモホールでプラネタリウム投影を開始して以来、市民の皆様にお楽しみいただきましたプラネタリウム投影ですが、このたびコスモホール改修事業に着手し、平成24年1月29日をもって常設プラネタリウム館としての投影事業を終了させていただくこととなりましたのでお知らせいたします。

これまでご利用いただきました皆様やご協力をいただきました関係者・関係機関の方々には深く感謝申し上げます。

平成24年度は天体観望会を継続実施し、観望会日は移動プラネタリウム業者に委託して機器等を持込んだ上でのプラネタリウム投影を実施したいと考えています。これによりプラネタリウムで事前学習し、本物の空を観望する施設のスタイルは堅持した学習の場をこれからも提供していきたいと、現在準備を進めております。

準備が整い次第、まなびセンターホームページや市広報にてご案内させていただきます。

関市まなびセンターニュース11. 12月合併号

ときめき

第97号 平成23(2011)年12月15日

関市教育委員会学校教育課

まなびセンター

関市若草通2-1

TEL.(0575)23-7760

FAX.(0575)23-7759

URL. <http://www.city.seki.gifu.jp/manabi/>



巻頭言「連鎖」

関市中学校長会会長 緑ヶ丘中学校長 市原輝明

「元気、子どもさん?母親してるね。」

2年前、関市のわかくさ・プラザで教え子のA子さんに偶然出会い掛けた言葉です。中学時代の1年間だけ受け持った生徒ですが、忘れることができません。「先生、この子には勉強させんとね。」と3歳の子どもの手を引きながら私に返してくれた言葉も忘れることができません。子どもを大切に育てていると感じさせてくれる笑顔と立振舞の中から、母親になった喜びのようなものが溢れていました。

「君からそんな言葉が聞けてうれしいよ。」と思わず、失礼な言葉を返してしまいました。

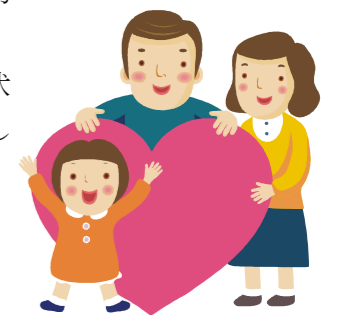
その時、彼女は心ない失礼な私の言葉を笑顔でさりりとかわしてくれました。17年前の彼女からは想像できない笑顔で。

彼女の中学校生活は、勉強なんて言葉は論外、朝10時頃長い髪をなびかせ登校し学校の敷地内で友達と話をしながら、1～2時間過ごすといった毎日でした。担任である私や職員が話しかけると逃げ回る、時には他学年の家庭科の調理実習に入り込み食べ物を盗むといったことまでする生徒でした。他学年の教員からは「先生、どうかして下さい。」と懇願されることもありました。家庭訪問等を繰り返し、母親とは仲良くなりましたが本人の生活態度は依然として変化なく卒業を迎えてしまいました。その彼女の「先生、この子には勉強させんとね。」という言葉は、教師をしていて良かったと感じることができる瞬間でもありました。

さて、彼女のように子育てを一生懸命できる生徒がいる一方、残念ながら親になり切れていない教え子もいます。当然のことかもしれませんが、その教え子の子どもは生活が乱れ親と同じような道を歩まざるを得ない状況が生まれています。そして、地域から見放され、時として「厄介者」として見られてしまうという結果も生じています。今後、地域を担わなければならない若者が、こんな状態に陥ってしまう「負の連鎖」を断ち切らなければいけないという使命感に似たものを強く感じています。

学校教育だけで負の連鎖を断ち切ることが困難であることは皆が認めるどころです。しかし、学校は負の連鎖を断ち切ることのできる大きな教育機関であることも疑いないことだと思います。私は、A子さんの「先生、この子には勉強させんとね。」という言葉の中に、負の連鎖を断ち切る一つの重要なヒントが含まれていると考えています。

中学卒業後のA子さんと私との関わり合いは紙面の関係で省きますが、年賀状だけはやりとりが続いています。来年はどんな写真入りの年賀状が届くのか楽しみにしながら、私も筆に思いをこめて新年のあいさつをしたいと思っています。



新任者の声

「みんな今日も全校で一番に集まれたね。すごいよー！」
 全校集会が終わった後、クラスで私が毎回きまって声をかける言葉です。体育館で八時一五分開始の全校集会、皆さんなら何時に子どもを集ませますか？五分前？三分前？それとも定刻に間に合えばよし？先生方によって様々なご意見があると思います。私は、『早ければ早いほどいい』という考えで、いつも教室を一五分前には出発できるように集めています。一分でも遅れた子には、朝から厳しく叱りながら・・・。

そんなある集会の後、いつものように早く集まったクラスの子ども達を褒めていた時のことです。ある子からこんな質問がありました。「先生、なんでいつもこんなに早く集合しなければいけないんですか？」

予想もしなかった内容の質問に、私はすぐに答えることができず、この考えはどうなんだろうと悩みました。『早く子どもを体育館に整列させることができ、ほっとしてるのは担任のあなただけじゃない？』

この核心をついた言葉に、私は強い衝撃を受けました。図星だったのです。早く集合することに満足していたのは、子どもではなく私でした。子どもの中には、「他のクラスは朝友達と楽しく話しているのに、なんでウチのクラスだけこんなに早く・・・。」と思っているかも知れません。他にも、時間に余裕がなくてトイレを我慢して整列している子がいたり、家の事情でぎりぎりにししか登校できず、着いてすぐに整列するのが辛いと感じる子がいたりするかもしれません。そういった子どもたちの気持ちを考えずに、私の自己満足で時間を規制して子どもを縛っていたことを反省しました。大切なことは、「そろそろ集まらないといけない」と子ども自身がそれぞれに意識して動けるように育てていくことだと、その先生から学びました。もちろん時間を守ることは大切ですが、それが早すぎるものではなく、子どもを思いを考慮した「適切な時間」を考えた指導を大切にしていきたいと思えます。

適切な時間

安桜小学校 山田 喬文

周りの方々に感謝しながら

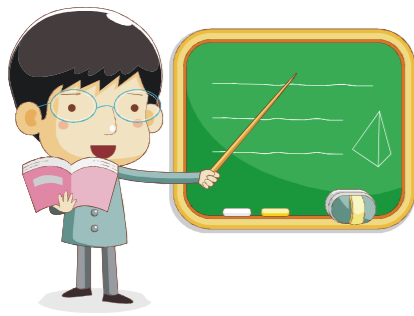
緑ヶ丘中学校 菊次 靖志

昨年の四月から緑ヶ丘中学校で新任として勤務させていただくことになりました。

それまでは、奥美濃方面に観光やスキーに出かける際に通るだけであった関市。一体どんな地域だろうか、また、赴任する学校はどんな学校だろうかと期待と不安を抱きました。加えて、犬山市からの通勤の為、通勤に対する不安も抱えながらのスタートでしたが、九カ月ほどが過ぎました。

振り返ってみると、職場の先輩方に支えられていることを強く実感した九カ月間でした。今までの自分は、どこか「早くやれるようになりたい。」とか「自分一人の力でやりきりたい。」という焦りが先行していたように思います。しかし、実際の仕事では、自分一人でやっていたつもりが、実は周りの方に支えられていたからこそできていたのだと痛感しています。例えば、膝をついて掃除をする生徒の姿が見られるようになったのも、一学年部の先生方が折に触れ、意図的に指導してくださり、私の学級に対して支援をしてくださったおかげです。また、部活動では、休日にもかかわらず試合の送迎や応援をしてくださった保護者の方々から、生徒は勿論、私自身も元気をもらいました。中でも、一学年部の先生方には常に声をかけていただいたり、失敗談を交えて貴重なアドバイスをいただいたりして、新任教師である私を支えていただきました。様々な場で知らず知らずのうちに支えられ、元気づけられているのだと感じるようになりました。また、なかなか学級経営や生徒指導がうまくいかず、落ち込みながら帰宅しても明るく接してくれる妻にも感謝しています。

このように多くの方々への支援をいただきながら、毎日、学校に勤めることができるのだと思います。この九カ月は、自分の指導の在り方を見つめる日々でした。自分の独りよがりな思いに気付かせてくださった先輩の先生方には、本当に感謝しています。今後は、これまでの反省を生かし、元氣な生徒や先生たちに負けないよう、一生懸命教師としての資質を高める努力を積み重ねていく覚悟です。そして、将来は、これから出会う様々な方を元気にさせられる教師を目指していきたいと考えています。



第49回関市小中学校連合音楽会

11月17日(木)中学校、18日(金)小学校と2日間に渡り、開催されました。市内30校それぞれの学校の特徴に応じたすばらしい演奏を堂々と発表しました。講師の美濃教育事務所：岡崎佳代子課長補佐様からは、次の講評をいただきました。

素晴らしい演奏ばかりで感動しました。その素晴らしさとは、
 ○一人一人が主役になって表現し、それらが合わさって美しいハーモニーが生まれていました。
 ○各校の様々な工夫があり、特徴がよく表れていました。
 これからもすてきな仲間と互いの音を聴き合い、主役を引き立て支え合う音楽を創っていきましょう。

『連合音楽会の振り返り』

板取中学校2年 長屋愛佳

私は、後期になってから文化交流部長として、また伴奏者として頑張ってきました。仲間にアドバイスをたくさんしていくうちに、だんだんと感動する合唱に近づいていったと感じました。自分自身でも注意する点は、以前よりも意識して取り組みました。文化交流部長になってからは、余計に合唱をもっとよくしたいと思うようになりました。そのためか、自然と口の大きさを意識するようにもなりました。連合音楽会本番では、緊張しながらも精一杯に歌いました。(中略)

他の中学校の発表を聴いたときは、背筋がゾクッとした学校もありました。特に感動したのは、武芸川中学校の合唱です。去年の合唱もずば抜けてうまかったと思いますが、今年もすごかったです。表情や歌い方を見ているだけで、本当に合唱が好きなんだろうなと思いました。声の強弱では、小さいところと大きいところがはっきりしていて見習いたいと思いました。

板取中学校の合唱は、この取組を通してすごく成長したと思います。しかし、他の学校の発表を聴いてみて、もっと伸びることができると感じました。今は3年生が中心となっていると思いますが、卒業式では1・2年生で卒業生に贈る合唱をしなければなりません。それまでに、表情や声の強弱など全てにおいてもっとがんばるように、みんなをサポートしていきたいです。



第3回関市子ども映像作品コンクール結果発表

- <最優秀賞>**
 - ・武儀東小学校4年生「10人の心が一つになった時」
 - ・今井 美輝「地歌舞伎に学ぶ～東白川村の伝統を受け継ぐ～」
- <優秀賞>**
 - ・桜尾小学校1年生「1ねんせいをむかえるかい」
 - ・小酒井 永二、古田 公宏「リサイクルできる物」
 - ・緑ヶ丘中学校特別支援学級「バケツ稲作り」
 - ・旭ヶ丘中学校パソコン部「ムカデの練習」
 - ・岐阜総合学園高等学校マルチメディア部「Enjoy my Life」
- <入賞>**
 - ・桜尾小学校5年生「ちょっと昔の米づくり」
 - ・桜尾小学校6年生「伝統の花づくり」
 - ・田坂 康友、後藤 みずき「さるのつなひき」
 - ・緑ヶ丘中学校生徒会「緑中体育祭の醍醐味」
 - ・岐商工業高等学校放送部「英語～今と昔を比べて～」
 - ・関商工高等学校マルチメディア部「2011エコランプロジェクト」
 - ・関商工高等学校マルチメディア部「2011甲子園への道」
 - ・関商工高等学校マルチメディア部「建設工学科 実習風景」

天文講演会

10月23日(日)わかくさ・プラザ1階多目的ホールにて、天文講演会を行いました。今年、宇宙航空研究開発機関(JAXA)の阪本成一教授を迎え、『「はやぶさ」とALMAでさぐる太陽系のはじまり』についてお話していただきました。当日は、32名の方に参加いただき、ありがとうございました。

